

# Weekly Report

2018-19年度  
名古屋瑞穂ロータリー  
クラブ会長のテーマ  
「継続と変化」



創立：1980年(昭和55年)1月10日  
会長：平野 好道  
幹事：湯澤 信雄  
クラブ広報委員長：長谷川 隆  
例会日：毎週木曜日 PM12:30～  
会場：ビルトン名古屋

事務局：460-0008  
名古屋市中区栄1丁目3-3 AMMNATビル7F  
TEL：052-211-3803  
FAX：052-211-2623  
MAIL：2760\_nagoya@mizuho-rc.jp  
URL：http://www.mizuho-rc.jp/

2018-19年度  
国際ロータリーのテーマ  
インスピレーションになる  
(BE THE INSPIRATION)

インスピレーションになる

## 第1875回例会

～青少年奉仕月間～  
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2019年5月9日(木) 晴れ 第37回

司会：湯澤勇生会場委員  
斉唱：「君が代」「奉仕の理想」

### 会長挨拶

平野好道会長

元号が平成から令和に変わりました。元号の出典を中国の古典にするのか、日本のものにするのかという二つの考えがあったようですが、今回は万葉集から取ったということで、国書、すなわち日本で著述された書籍になったようです。ただ、これに対しても今回根拠となった万葉集の部分の元は中国の古典なのだという意見もありました。



ところで、話し言葉としての日本語はありますが、一般には漢字が入ってくるまで書く文字としての日本語はなかったと言われています。これに対し神代文字(じんだいもじ・かみよもじ)というものが存在し、漢字が入ってくる前にも日本固有の文字はあったのだと主張する説もあります。それでは、日本は一方的に中国から漢字の恩恵を受けてきたのかという現代ではそうではありません。なぜかという、日本で作られた言葉を中国が「輸入」して使っているからです。なぜ、そのようなことが起こったのかというと、まず日本が外国の言葉を日本語に訳す必要が生じたことが原因です。特に明治維新後海外からのいろいろな情報が入って来ましたが、そのままで日本人は理解できず、しかし、これまで日本になかった概念であるとする、これを日本語に訳す必要がありました。そこで、例えば [liberty] は「自由」、[society] は「社会」、[individual] は「個人」、[nature] は「自然」というように訳しました。こういう時に漢字は便利ですね。

日本は明治維新後飛躍的に発展して行きますが、中国は清の末期国力が衰え、諸外国の侵略の対象となりました。そこで中国人は亡国の危機を感じ、先に明治維新後資本主義の軌道に乗って発展して行く日本を見て、日本に留学する人が多くなりました。1905年、明治38年には、中国からの留学生は8000人に及んだとのこと。中国からの留学生が日本に多かったのは、近いことあるでしょうが、漢字が共通している、日本語の習得が比較的容易であったためと言われてます。そこで、多くの留学生が欧米の外国語から訳された日本語に接し、これを中国に持ち込んだ結果、中国語に日本で作られた漢字の言葉が大量に入って行きました。そこで、現在中国で使われている共産党、幹部、指導、社会主義、市場、経済という言葉も日本人が作り中国で使われるようになっていっています。

### 出席報告

星野一郎出席委員長

会員66名 出席49名 (出席計算人数50名)

出席率 85.1% 4月25日は補填により86.2%

### ニコボックス

星野一郎ニコボックス委員長

- ・ 家内へ誕生日にすてきなお花を頂きありがとうございます。  
佐治 寛行さん
- ・ 5/27は妻の誕生日です。4/29に令和を待てる長男喜輝に最初の子、長男恵留(めぐる)が誕生しました。  
平野 好道さん
- ・ 4月21日は妻の誕生日でした。素敵なお花をいただき、誠にありがとうございました。  
本多 誠之さん
- ・ 今月9日は妻の誕生日です。  
西川 徹也さん

- ・ 榎田さん、インスピレーションスピーチを楽しみにしています。  
関谷 俊征さん
- ・ 榎田さん、インスピレーションスピーチ楽しみにしています。頑張ってください。  
近藤 茂弘さん
- ・ 4月28日は家内の誕生日でした。綺麗なお花をありがとうございました。ゴールデンウィークにエアーズロック(オーストラリア)に行ってきました。雄大な景色でした。  
伊藤 豪さん
- ・ 松波先生、宮崎ではお世話になりました。  
堀 慎治さん
- ・ 令和元年おめでとございます。新たな気持ちでロータリーライフを楽しみましょう。  
松波 恒彦さん
- ・ 令和元年おめでとございます。  
鈴木 淑久さん
- ・ さよなら平成、ようこそ令和。  
森 裕之さん
- ・ 令和になり気分一新です。私は遊びすぎで時差ボケです。  
長谷川 隆さん
- ・ 祝、令和!  
今川 知也さん

### 5月誕生日おめでとう

高村 博三さん 長瀬憲八郎さん 加納 裕さん  
堀 慎治さん 榎田 篤弘さん

### 幹事報告

湯澤信雄幹事

- ・ 次週5月12日(日)10:00より、RAC5月第1例会を庄内緑地公園A区画にて行います。
- ・ 次週5月16日(木)13:40より、次年度予定者会議をビルトン名古屋4階「梅の間」にて行います。
- ・ 次々週5月23日(木)19:00～20:30まで、RAC・IAC合同例会をビルトン名古屋4階「桜の間」にて行います。

### 委員会・同好会報告

#### ゴルフ部会5月度

開催日：5月8日(水)

今回の6月ゴルフ例会は6月14日(金)、三好カントリー倶楽部東コースにて開催されます。

	氏名	グロス	HDCP	修正HDCP	ネット
優勝	内田久利さん	99	29.2	+1	70.8
2位	原田敬生さん	99	28.0	なし	71.0
3位	岡村達人さん	104	31.6	なし	72.4

### 卓話

榎田 篤弘さん

#### テーマ：「インスピレーションスピーチ」

本日は貴重なお時間を私のインスピレーションスピーチのお時間にいただき誠にありがとうございます。まず初めに、ロータリークラブ入会にあたり、平野会長をはじめ、名古屋瑞穂RCの皆様には、会員として受け入れていただいたことに心より感謝申し上げます。

近藤さんと私は約25年のお付き合いになり、近藤さんが新瑞橋の信用金庫にお勤めの時、うちの店の担当をしていただいていたところからのお付き合いです。13年前に近藤さんに、僕もロータリークラブに入るから一緒に入ろうとすすめてくれました。その時は目をひんむいて驚きました。その頃は近藤さんも駆け出し、私も駆け出しでした。近藤さんに言いました。ロータリークラブというのは、うちの町内で言うと、鈴木圓三さんとか名士の人が入っているところで、まだ我々が入れるところではないよと言いました。近藤さん

はとりあえず、自分が先に入るのの後で入ってとってくれました。

6年前にロータリーの交流会があり、お肉を食べに行くので一緒にいこうと誘ってくれました。近藤さんの説明のニュアンスだとてっきり、ステーキをホテルでごちそうしてくれると思いきや、時々行く近所の堀田駅のおいしいけど煙もくもくの焼き肉屋でした。それが、とって親近感がわきうれしかったのを覚えております。ちょっと前に家内と最近近藤さんが輝いて見えるね、やはりロータリアンは違うねと話していたところに、近藤さんが、ロータリーの方を連れて、うちの事務所に来たいと連絡がありました。座ってもら場所もないので「ダメ」と言ったつもりだったのですが、なぜか近藤マジックで強引に日にちが決められ、当日を迎えました。私はてっきりぐいぐい入会を勧められるものと思っていましたが、来ていただいた方は素晴らしい紳士的でかっこいい方でした。まったくロータリーの話もしないで世間話をされ、話上手で、聞き上手な方でした。最後に思い出されたように、そういえば今日はロータリーで来たので少しだけお話しさせていただきますねとおっしゃられ、「50歳ぐらいがロータリーに入会するにはちょうどいい年齢だと思います。」とおっしゃっていただきました。「私は、入会して素晴らしい仲間巡り合え、入会して本当に良かったと思っていますので、入会をお勧めします。仲間になりませんか。」と仰っていただきました。なんの迷いもなく、私もこういう方になりたいと思い、即入会をきめました。今まで10年かけて誘っていた近藤さんに変身し訳ありませんので、少し補足しますと正直10年前、5年前だと会費が払えないということもありました。私の地域の長であり、そして私の小学校時代PTA会長の鈴木圓三さん、近藤さん、入会の後押しをしてくださった関谷さんのおかげで、素晴らしい名古屋瑞穂RCの皆様にご縁をいただいたことに心より感謝申し上げます。

私は昭和42年5月1日に名古屋市瑞穂区瑞穂通7丁目の商店街でうまれました。隣はめし屋、自転車屋、お好み屋、パン屋、中華屋、八百屋、床屋が続く小さい商店街でした。子供はみんな商売屋の子供で、みんな屋号や職種で呼ばれていました。花屋の子、パン屋の子、中華屋の子、キッチンンボというレストランがあり、そのレストランの子供はトンボの子と呼ばれておりました。もちろん我々子供の中では、ヤゴと呼ばれていました。父親は16歳の時に稲沢から名古屋にでてきて、金山の花屋に就職しました。戦争の爪痕が残っているところもあつたそうなので、そんなとき花なんて売れたのか？と聞いたことがありますが、白川公園にアメリカ村という進駐軍の居住区があり、花がよく売れたそうです。カトリアは今でも一輪1000円ぐらいしますが、その当時も同じ1000円ぐらいで売っていたそうなので、とても儲かったそうです。父親が花屋に就職して1週間ぐらいたった頃に初めてアメリカ村に配達を命じられたそうです。子供の頃に教えられていたアメリカ人のイメージが邪魔をして、ドキドキびくびくしながらアメリカ村のゲートに行きました。部屋をノックして、出てきたのがそれは大きい黒人だったので、頭に描いていたアメリカ人とあまりにもギャップがあり、びっくりして腰を抜かして座り込んでしまいました。そのアメリカ兵も驚き、抱きかかえて椅子に座らせてくれたそうです。アメリカ兵が奥に入りこれを飲めと持ってきてくれた、見たこともないビンに入っている真っ黒い泡だらけの飲み物を見て毒だと思い飲まなかったら、何度も飲めと言われて死ぬ気で飲んだのが、初めてのコーラだったそうです。

わたしは中学、高校と柔道をやっており、高校の時ある大会のご褒美でアメリカの家庭にホームステイをさせてもらう、という旅行に2週間連れて行ってもらいました。ただで泊めていただくので、商売人の子としては気が引けて、ホストファミリーのお父さん、お母さんの車を洗ったり、芝生の草を刈ったり、ありとあらゆる手伝いを探してしました。そうしたら、お前このままここからアメリカの学校に行かないかと言われ、それもいいなと思先生に相談したら「とりあえず卒業してからにしたほうがいい」と言われたので高校卒業後、4年半アメリカにいました。最初の1年間はこのホストファミリーの家から語学学校に通わせてもらい、大学は町中だったのでアパートを借りて大学に通いました。大学に入るとお金が必要なので仕事をしたのですが、ビザの関係で仕事ができず困っていました。ハンバーガーやピザも食べ飽きてしまうと、1ドル280円の時代でした。チャイナタウンに量が多くておいしいチャーハンを食べによく行っていました。チャイナタウンは私が生まれ育った商店街みたいでとても居心地がよかったです。チャイナタウンの花屋のおばちゃんと知り合いとてもかわいがってもらいました。その花屋で仕事をさせてもらいながら大学に通いました。今思い返すとアメリカで一番学んだのは義理人情と華僑とのお付き合いでした。シアトルのチャイナタウンはあのブルースリーもウエイターをしながら大学に通った街です。ブルースリーが作った道場もある街で妻と出会った街でもあります。

アメリカから帰り、父親の知り合いの花屋で修行させていただくことになりました。花長という花屋で野崎さんもお客様で来ていただいていた。パルコや大津通に店があり香港にも出店する、当時はすごい花屋さんでした。

家に戻った当時は葬儀屋の下請けなどの仕事をしていましたが、時代の波

で葬儀会館が出来たり、葬儀屋も葬儀の花を花屋に頼まず葬儀屋が準備するようになり、花屋の仕事がなくなっていきました。私の花屋も一気に仕事なくなり、帰ってきて早々困っていました。その末に行なった仕事はスーパーで売っている花束を作って卸売りをする仕事でした。でも、業者間の相見積もりが厳しく、やっといただいたと思った仕事は、なかなか利益が出ませんでした。これはいけないと思い、利は元にあると考え日本一の花の産地である愛知県渥美半島の生産者を回り、契約栽培を持ちかけました。半年かけて8軒の生産者が賛同していただき、ちょうど8軒の生産者の年間生産量と私どもの使う量が一致したため契約をして美里花き流通グループとして始めました。3か月したある日、生産者のリーダーから「そろそろ花を出荷します。」と電話をいただきました。次の日花が届く予定のうちの倉庫へ期待して確認しに行きました。外から見ると、40坪の狭い倉庫からはみださんばかりに商品が積まれていました。なんと、うちが半年かけて使う量の菊が一日で出荷されていました。急いでリーダーに電話すると、「しょうがない、天気がいいと一気に咲くから。」と言われました。悩んでいても仕方ないので、慌てて図書館に行って日本全国の電話帳を開いて、花市場を探して、全国の花市場に営業して、大赤字でしたが3日以内でなんとかお金に変えることができました。この時慌てて作ったルートが今でも生きております。

紆余曲折をへて、3年頑張りましたが契約を終了して、その苗をもって、友人達を頼って中国に行きました。中国で日本の菊の栽培を教えて出荷が始まりました。中国で見ると日本で使える菊に仕上がりましたが、日本に到着すると全然使い物になりません。日本に到着しては虫が見つかり廃棄、お客様に買っていたはクレームの嵐で、お金も無くなりどうしようと思っているときに、中国の友人の台湾の生産者が日本人が面白そうなことをしていると聞きつけてくれて、台湾で一緒にやらないかと声をかけてくれました。最初は3人の生産者からスタートして、人が人を呼んで増えていきました。私は一滴も飲めないお酒を死ぬ気で飲みました。台湾ではトータル180名の生産者になりました。中国では政府系の農場とお付き合いができるようになりました。今ではマレーシア、インド、中国、韓国、タイで生産しており、長島で農場を構えさせていただいております。

現在の私の仕事内容として、胡蝶蘭の花は花が咲くまで3年半かかるので3年台湾で育ててその苗を世界中に送っております。中国でぬいぐるみと花をアレンジして日本に送っています。40ffコンテナで東京、名古屋港に年間114本、空輸年間250シブメントを成田、関空、セントレアに送っております。セントレアではオランダの花束を作る機械を入れて、手作業だと一日500束のところを1時間2000束作れようようになっております。セントレアについたものはその場で花束にして24時間以内にスーパーに卸せるように加工をして、冷蔵トラックで配達しております。お店は瑞穂区と岡崎にあります。創業者も現役で店に立ってます。近年日本では、欧米と違い自分が楽しむためのお花は売れなく、ギフトや仏花が中心で売られています。そして、最近は生け花を勉強してないので花の生け方がわからないからあまり花を買わない、ということがアンケート調査で分かり、そのため花の生け方がわかる世界初の花のレシピサイトを作り、インターネットにて1分で花の生け方がわかる動画を配信しております。日本トップのフローリスト30名が花を生ける動画を作り、ネット配信しています。オランダで球根を育て、韓国濟州島で花を咲かせ、日本で売る、3国間貿易に挑戦中です。夢は家業を世界に誇れるフラワービジネスにすること。そして南アフリカの牧草地をまっすぐ25キロ走っても自分の農場という自社のサポテンの農場を持つことです。この度は、素晴らしい学びをさせていただきました。長時間にわたりご清聴誠にありがとうございました。



## 例会のご案内

- 今週の卓話 5月16日(木)  
テ - マ: ビジネスで成功する心の在り方  
会員卓話: ソニー生命保険ライフプランナー  
寺尾 隆さん
- 次週の行事 5月23日(木) RAC、IACとの合同例会  
時 間: 19:00~20:30  
場 所: ヒルトン名古屋 4階「桜の間」
- 次々週卓話 5月30日(木)  
テ - マ: 新会員イニシエーションスピーチ  
会員卓話: 千秋 季頼さん